

赤川水系水力発電事業性評価事業

1. 事業の目的

令和7年度に実施した地質調査、地形調査及び流量調査の結果を踏まえて基本設計を行うことで、より精度の高い主要構造物の設計、工事費の積算、経済性の評価を実施する。

2. 事業の内容

- (1) 事業者名
岩手県企業局
- (2) 補助事業の名称
赤川水系水力発電事業性評価事業
- (3) 事業期間
令和7年6月11日 ～ 令和8年2月20日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a. 発電形式 : 水路式(流れ込み式)
 - b. 使用水量 : $0.75\text{m}^3/\text{s}$
 - c. 有効落差 : 322.39m
 - d. 出力 : $1,900\text{kW}$

3. 令和7年度の事業実施概要

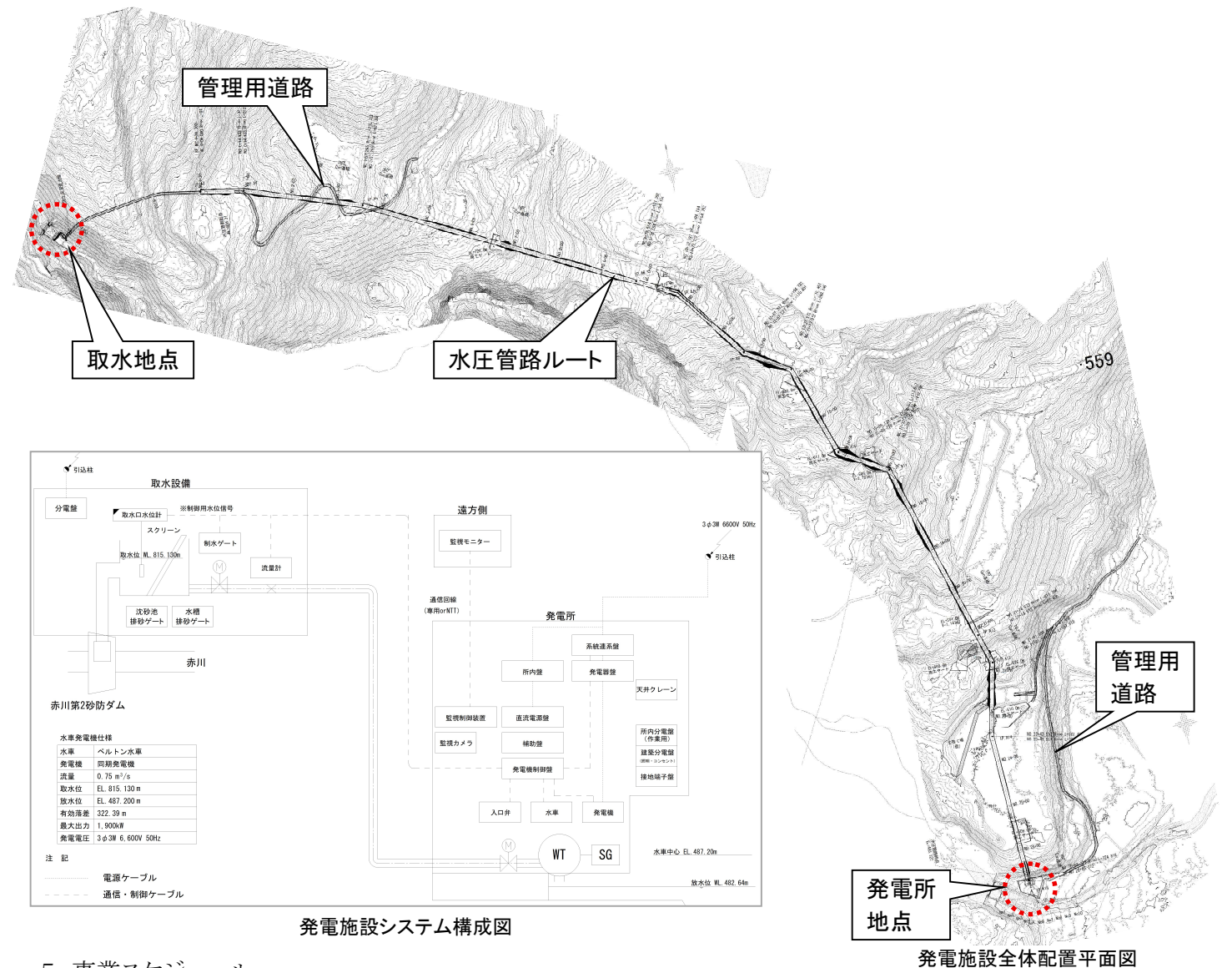
- ① 流量調査(補助対象外)
計画予定地において令和5年4月から観測を開始しており、令和7年度も継続して観測を行った。
- ② 地形測量(補助対象外)
計画地点において以下の調査を実施した。
 - ・航空レーザ測量、基準点測量、現地測量
- ③ 地質調査(補助対象外)
計画地点において以下の調査を実施した。
 - ・岩盤ボーリング、標準貫入試験、弾性波探査

- ④ 基本設計
地形測量、地質調査の結果を踏まえ、一連の発電施設の基本設計を行うとともに、施工計画と工程計画の立案、工事費との積算及び経済性の評価を行った。
- 【基本設計】主要構造物として、取水設備、導水トンネル、水圧管路、発電所基礎及び建屋、放水路及び放水口の設計、電気機械設備及び付属機器等の基本計画並びに設計、その他設備として、管理用道路等の基本設計を実施
- 【施工計画と工程計画】主要構造物の工事の施工方法・仮設備等を検討の上、施工計画を立案し、詳細な工事工程表を作成。

- ⑤ 事業性評価
【工事費との積算及び経済性の評価】工事費積算は、設計図書(工事数量)から、土木工事標準積算単価、土木コスト情報等の単価を用いて積算を実施。経済性評価は、算出した工事費から求めた発電所の合成耐用年数を評価期間として実施。
【総合検討】最終的な取りまとめを行うとともに、今後の諸手続き・工事及び施工等における留意点などの課題について提案を行う。

4. 事業の成果等

- ・ 基本設計を行い事業性の検討を実施した。結果、維持流量の設定次第では、事業化が見込める案件であることがわかった。維持流量は、今後の河川管理者との協議により決定していく予定である。
- ・ 本件業務の結果をもとに設計内容や採用工法の工夫を行い詳細な建設費用の算出を行う予定である。



5. 事業スケジュール

調査項目	令和7年度(実績)												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
流量調査(補助対象外)													
地形調査(補助対象外)													
地質調査(補助対象外)													
基本設計・事業性評価													

